

知ってほしい！ワンヘルス！—徳島県はワンヘルスを推進しています—

◆ワンヘルス（One Health）とは？

動物から人へ感染する「動物由来感染症」は、人のかかる感染症の半数以上を占めています。また、この病原体を持つ野生動物、媒介生物などの生息域が、近年の森林破壊や気候変動で人の生活圏と重なってきて、人に感染する機会が増えています。

「人の健康」を守るためには、「動物の健康」も「環境の健全性」も守る必要があります。この3つの健康を1つのものとして守っていくという考え方が「ワンヘルス」です。

◆私たちは何をすればいいの？

各分野の専門家（医師、獣医師、環境分野の研究者など）、行政や関係機関が連携するだけでなく、ワンヘルスを意識した一人一人の行動が大切です。たとえば、「ペットを適正に飼う」「感染症を防ぐために手洗いやうがいをする」「草むらに入るときは、長ズボン着用や虫除けをする」「気候変動対策として省エネなどに努める」なども、ワンヘルスを実現するための取組として大切です。



身近なこんなことも、ワンヘルスの実践になります

人の健康を守る方法

- ☐ 山に入る時は、肌を露出させず、虫よけスプレーなどを使う
- ☐ 外出後・動物を触った後は手洗いをする
- ☐ 薬を正しく服用する

環境の健全性を守る方法

- ☐ ゴミの分別、リサイクルをする
- ☐ 必要のない電気は消す
- ☐ リサイクルをする
- ☐ 食品ロスを減らす

いまだきの犬猫の飼い方

動物との共生

- ☐ 不妊去勢手術
- ☐ 室内飼育
- ☐ 迷子札
- ☐ マイクロチップ
- ☐ ワクチン

野良猫ってなんとかならないの？

解決策は、地域猫や TNR という不妊去勢手術をしてエサやトイレのお世話をする方法しかありません。外で暮らす猫の寿命は短く、長くて 4～5 年といわれています。不妊去勢手術をし、一代限りの命を見守る活動にご協力を。詳しくは、下記の徳島県動物愛護管理センターHP へ

犬の飼い主の方へ <徳島県動物愛護管理センターに收容された犬の殺処分について>

センターに收容され、飼い主のお迎えがなかった犬たちのうち、人馴れした子たちは、ボランティアの方々の多大なご協力をいただきながら、新しい飼い主のもとへ命のバトンをつないでいます。人馴れしていない子は訓練が必要で、多くの時間と收容スペースを要しています。しかし、收容スペースが迷子の飼い犬たちで埋め尽くされると、命のバトンをつなぐことができず、やむを得ず殺処分になる場合があります。また、不妊去勢手術していない飼い犬が逃走、繁殖し、收容されてくる子もいます。このように、飼い犬が原因で殺処分される子が増えないように、

マイクロチップ、迷子札、逃走防止、望まれない繁殖の制限（不妊去勢手術）など犬の飼い主の責務を果たし、終生大切に飼ってください。



徳島県動物愛護管理
センターホームページ